

事務事業チェックシート

事務事業No 607 事業名 こども科学館運営事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費 その他	管理経費	○
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務	
	その他		
会計・ 予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	社会教育費	
	目	こども科学館費	
	大 事業 事項	こども科学館事業	

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	2	青少年の健全育成
施策	1	青少年の健全育成
基本方針	2	青少年の健全育成環境の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	平成18年度	～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	神崎信彦	(435-1139)
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	こどもの自然科学に関する興味と認識を深め、個性に応じた能力の伸長と情操豊かで創造的なこどもを育成する。	<p>科学展示 自然科学を理解させるため、操作体験型の展示物設置や郷土の生物・地学、天体に関する展示を行う。 プラネタリウム投影 正しい宇宙感を育てるため、こども達が興味を抱く天体や宇宙の解説を行う。 普及活動 自然科学をより深く理解し、情操豊かなこどもの育成に資するため実験、観察、工作等を行う。 科学に関する調査研究 こども科学館の目的を達成するため、科学に関する調査研究を行い、またその情報を提供する。</p>				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		①野外生物観察会 12回 ②天体観察会 8回 ③ミニサイエンス教室 31回 ④親子実験工作教室 2回 ⑤星空散歩 14回 ⑥特別展 2回 ⑦プラネタリウム番組 3番組 ⑧9歳までに身につけたい科学教室 18回 ⑨科学教室 5回 ⑩自然に親しむ教室 4回 ⑪夏休み実習教室 1回	①野外生物観察会 11回 ②天体観察会 7回 ③ミニサイエンス教室 53回 ④9歳までに身につけたい科学教室 20回 ⑤15歳までに身につけたい科学教室 9回 ⑥特別展 2回 ⑦プラネタリウム番組 3番組 ⑧星空散歩 24回 ⑨自然に親しむ教室 4回 ⑩夏休み実習教室 1回	①野外生物観察会 12回 ②天体観察会 7回 ③ミニサイエンス教室 52回 ④9歳までに身につけたい科学教室 20回 ⑤15歳までに身につけたい科学教室 9回 ⑥特別展 2回 ⑦プラネタリウム番組 3番組 ⑧星空散歩 24回 ⑨自然に親しむ教室 4回 ⑩夏休み実習教室 1回	①野外生物観察会 12回 ②学校天体観察会 5回 ③ミニサイエンス教室 51回 ④9歳までに身につけたい科学教室 22回 ⑤科学の原理発見教室 9回 ⑥プラネタリウム番組 3番組 ⑦自然に親しむ教室 8回 ⑧夏休み実習教室 1回 ⑨特別サイエンス 3回	①野外生物観察会 12回 ②学校天体観察会 5回 ③ミニサイエンス教室 51回 ④9歳までに身につけたい科学教室 22回 ⑤科学の原理発見教室 9回 ⑥プラネタリウム番組 3番組 ⑦自然に親しむ教室 8回 ⑧夏休み実習教室 1回 ⑨特別サイエンス 3回

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	6,707	7,369	11,219	10,640	10,587	10,321	10,792		10,792	
	伸び率 (%)	-	-	67.3%		-5.6%		1.9%		0.0%	
	人件費	常勤職員	7,539	7,805	7,658	4,998	4,998	4,998	7,497		7,658
		非常勤職員	3,515	3,512	3,512	3,930	4,478	4,478	3,823		3,512
		小計	11,054	11,317	11,170	8,928	9,476	9,476	11,170		11,170
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	6,707	7,369	11,219	10,640	10,587	10,321	10,792		10,792		
所要人数	常勤職員	1.01	1.03	1.01	0.67	0.67	0.67	1.01		1.01	
	非常勤職員	1.67	1.67	1.67	2.00	1.90	1.9	1.56		1.67	
主な予算内訳	展示及びプラネタリウム保守点検4,029千円、ソフト借上料4,796千円 (平成27年度予算)										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	普及活動開催回数	年度目標値			98	130	131	111	111
		実績値			96	130	131		
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	98.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
					実績値				
				年度別達成度					
成果指標	普及活動参加者数				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	人	年度目標値		3,502	4,932	4,932	4,880	4,880
			実績値		3,810	4,056	4,378		
	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		108.8%	82.2%	88.8%		
			年度目標値						
			実績値						
		年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>普及教室の「9歳までに身につけたい科学」と「親子生き物博士教室」は、抽選をするほど申込者が増加し、その需要は伸びる傾向にある。普及活動参加者数の年度別達成度が100%近くになりにくいのは、雨天中止や当日キャンセルする参加者がいくらかあることも原因としてあげられる。毎週日曜日に実施するミニサイエンスの参加者は、期待するよりも少ないことがある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>「自然に親しむ教室」や「特別サイエンス」や毎日曜日開催の「ミニサイエンス」など抽選のない教室の内容をより魅力的なものとして、教室参加者を増やし、科学教育の普及に努めたい。 開館以来ほとんど改修されていない老朽化した2階展示物を、系統的に物理の概念が習得できるような操作体験型の展示物群に改修して、より一層こどもの科学教育に貢献したい。</p>